

身近な地衣類図鑑

いろいろなところでみかけるよ！みつけてね！

制作：ミュージアムパーク茨城県自然博物館

ナメラクロムカデゴケ



日あたりのよいところのコンクリートでよくみかけるよ！黒い子器（しき）がめだつよ！

コフキメダルチイ



メダルのように丸くなることが多く、表面にはこなのかたまりがたくさんついているよ。

ナミガタウメノキゴケ



ふちがなみなみしていて、フリルのついた服みたい！

コアカミゴケ



マッチぼうみたい。赤いところは「モンローリップ」ともよばれるよ！

コガネゴケ



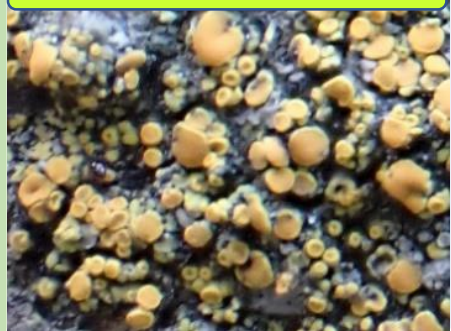
けい光ペンのような色をしているよ。きめこまかなつぶでできているよ。

クチナワゴケ



「くちなわ」は古い言葉でヘビのことだよ。黒い部分がヘビにみえたのかな？

コウロコダイダイゴケ



まちなかのコンクリートがオレンジ色にみえたら、このなかまかも！”しみ”じゃないよ！

ウメノキゴケ



「ウメノキ・・・」ですが、サクラやおはかの石などにもついてるよ。

ヒメジョウゴゴケ



「ジョウゴ」＝「ろうと」。ろうとにそっくり！地面以外にもいろんなすき間に生えるよ。

ヘリトリゴケ



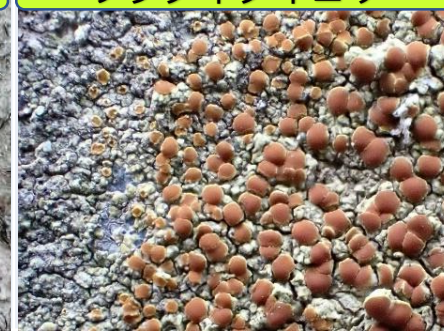
「ヘリ」＝「ふち」。黒くふちどられているのでヘリトリゴケ。

モジゴケのなかま



黒い部分が文字に見えるのでモジゴケ。ホントに文字があったりして?!

ツブダイダイゴケ



コウロコダイダイゴケと同じところに見つかることが多いよ。全体に白っぽく、また“ツブ”はどらやきのような色だよ！

ロウソクゴケ



ヨーロッパでは、この地衣類で黄色いろそくを作っていたので、ロウソクゴケとよばれるよ。

ハクテングケ



表面に白い点（はくてん）と、こなのようなものがあればハクテングケ。

シロムカデゴケ



コフキメダルチイによく似ているけれど、よりでこぼこが目立つよ。ウラは白いんだよ。

チャシブゴケのなかま



コップの茶しぶのような色をしているよ。いろいろな色があるよ！

トリハダゴケのなかま



いぼいぼしているね。とりはだが立ったようにもみえるね。

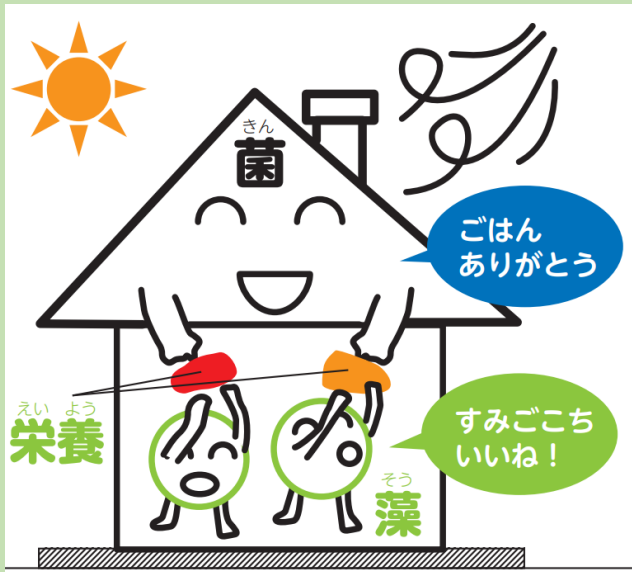
レプラゴケのなかま



はんぶん日かげの木や岩の上にいるよ。水色やうす緑色のペンキがついたような木をみかけたら、レプラゴケのなかまかもしれないよ。

身近な生きものの地衣類

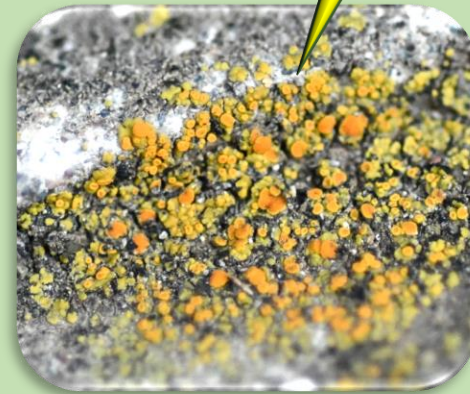
地衣類は、からだのなかにすまわせた藻類から栄養をもらい、じぶんは藻類に安定した住みかをあたえるという生き方を選んだ特殊な菌類(かび、きのこの仲間)です。
 ※〇〇ゴケと名の付くものが多いですが、コケ植物ではありません!



←地衣類のからだのイメージ

全体がひとつの地衣類

地衣類は、菌と藻がまるで合体してひとつのからだをつくっているかのような生きもの(菌と藻の共生体)です



道ばたのコンクリート
 ただの「しみ」かとおもったら…
 コウロコ
 ダイダイゴケ



木についているのは葉っぱ?ペンキ?いえいえ、これが地衣類です
 ナミガタウメノキゴケやロウソクゴケなど(ずかんをみてね)



葉状地衣類(葉っぱみたい)



固着地衣類(シールみたい)



樹枝状地衣類(枝みたい)

地衣類のからだのかたち

地衣類とは？

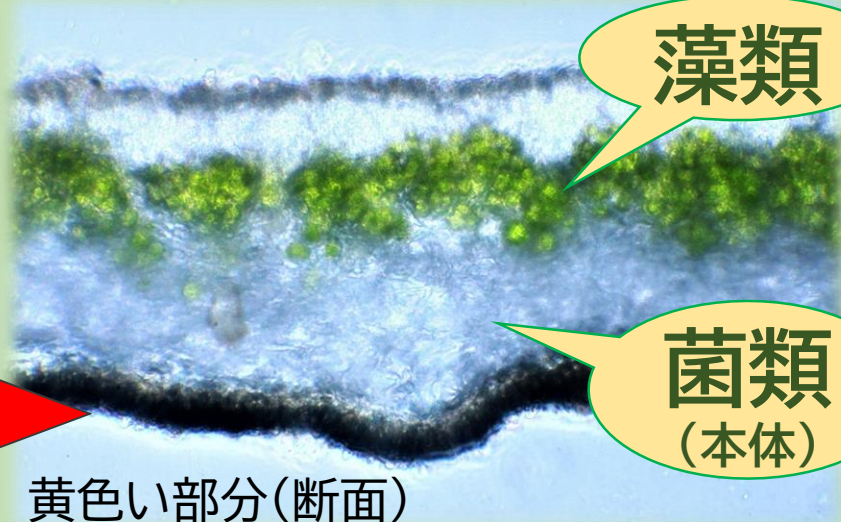
からだのなかに住ませた藻類から栄養をもらい、
自らは藻類に安定した住みかを提供する、「共生」と
いう生き方を選んだ **特殊な菌類** (かび、きのこの仲間)

※〇〇ゴケと名の付くものが多いが、コケ植物ではない

地衣類のからだのつくり



ナメラクロムカデゴケ



黄色い部分(断面)

藻類

菌類
(本体)

地衣類は、**菌と藻がまるで合体してひとつのからだをつくっている**
かのような生きもの(菌と藻の共生体)といえる



葉状地衣類

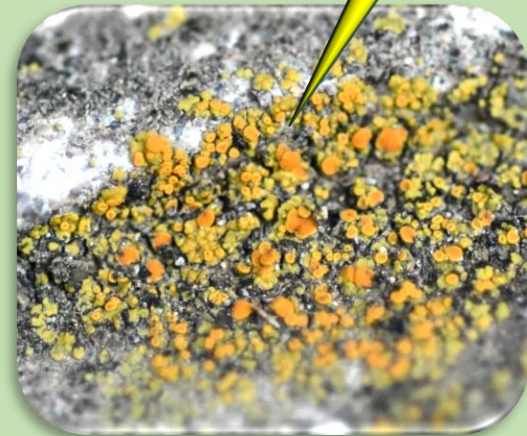


固着地衣類

地衣類の3つの生育形



樹枝状地衣類



コウロコダイダイゴケ



ナミガタウメノキゴケやロウソクゴケなど

コンクリートや樹皮の「模様」や「しみ」
に見える部分は、地衣類であることが多い

